



CQM(超短期経済予測モデル)

熊坂侑三 (APIR リサーチリーダー, ITエコノミーCEO)
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail:kumasaka@iteconomy.com

米国経済(週次)予測(2014年3月7日)

ポイント

- ▶米経済は1月、2月の悪天候以前から悪化しており、ファンダメンタルズの弱さを抱えている。
- ▶図表に見るように景気は1月10日のCQM予測から下降トレンドを形成している。2月7日に始めて1月の雇用統計が更新されるまでは、1月の悪天候の影響をCQM予測は受けていない。
- ▶図表にみる景気後退と同じパターンが実質アグリゲート指標からも見られる。
- ▶しかし、多くの連銀エコノミストは最近の景気のスローダウンを悪天候によるとして、景気回復への楽観的な見方を変えていない。
- ▶3月19日のFOMCミーティングでは3度目の資産購入の縮小を決定する可能性が高い。
- ▶最近の研究でQE、フォワードガイダンスの悪影響が懸念されている。

CQM 予測の動態：実質 GDP の成長率
2014年 Q1 (1-3 月期) (%、前期比年率換算)

